



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月6日

上場会社名 日本ケミコン株式会社
 コード番号 6997 URL <https://www.chemi-con.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上山 典男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 石井 治
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5436-7711

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	119,899	17.0	9,013	48.0	7,806	36.1	2,053	
2022年3月期第3四半期	102,491	28.3	6,091	334.0	5,736	629.5	13,672	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 6,376百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 11,722百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	101.24	
2022年3月期第3四半期	674.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	164,479	51,090	30.8
2022年3月期	156,140	44,715	28.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 50,739百万円 2022年3月期 44,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	14.0	11,500	30.7	9,500	18.2	3,500		172.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	20,314,833 株	2022年3月期	20,314,833 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	36,484 株	2022年3月期	35,640 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	20,278,751 株	2022年3月期3Q	20,280,037 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、実際の業績は今後様々な要因により変動する場合があります。上記の業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米を中心に経済活動の正常化が進む中、他の地域でも緩やかな景気の回復が見られました。一方、半導体不足による自動車の減産影響や中国の新型コロナウイルス感染拡大による都市封鎖に加え、ウクライナ情勢の長期化による原材料やエネルギー価格の高騰、インフレ鎮静化を主な目的とした米国の政策金利引き上げによる急激な為替変動など、経済環境は不透明な状況で推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは第9次中期経営計画に基づき、車載関連市場を始めとする戦略市場に向けて高付加価値な製品を拡販すると共に、価格是正による収益性の改善を図ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高は1,198億99百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益は90億13百万円（前年同期比48.0%増）、経常利益は78億6百万円（前年同期比36.1%増）となりました。また、独占禁止法関連損失の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億53百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失136億72百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,644億79百万円となり前連結会計年度末に比べて83億39百万円増加いたしました。

流動資産は、1,003億51百万円となり39億17百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加26億94百万円などです。固定資産は、641億28百万円となり44億21百万円増加いたしました。

負債は、1,133億89百万円となり19億64百万円増加いたしました。主な要因は、借入金の増加137億33百万円などです。

純資産は、510億90百万円となり前連結会計年度末に比べて63億74百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、為替換算調整勘定の増加などです。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の28.4%から30.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年8月4日に公表いたしました2023年3月期（通期）の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（2023年2月6日）公表の「営業外費用の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

第4四半期連結会計期間の為替レートは、1米ドル＝130円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,760	25,170
受取手形及び売掛金	31,100	33,795
商品及び製品	14,344	15,090
仕掛品	10,929	11,937
原材料及び貯蔵品	6,329	6,949
その他	8,977	7,417
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	96,434	100,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,036	43,179
減価償却累計額	△31,894	△33,103
建物及び構築物(純額)	10,142	10,075
機械装置及び運搬具	129,652	133,776
減価償却累計額	△115,269	△118,677
機械装置及び運搬具(純額)	14,382	15,099
工具、器具及び備品	15,727	16,284
減価償却累計額	△13,845	△14,284
工具、器具及び備品(純額)	1,881	1,999
土地	6,939	6,943
リース資産	1,566	1,560
減価償却累計額	△959	△1,038
リース資産(純額)	607	522
使用権資産	3,409	4,521
減価償却累計額	△1,078	△1,324
使用権資産(純額)	2,330	3,197
建設仮勘定	2,797	3,245
有形固定資産合計	39,081	41,084
無形固定資産	1,809	2,029
投資その他の資産		
投資有価証券	16,301	18,206
その他	2,531	2,825
貸倒引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	18,815	21,014
固定資産合計	59,706	64,128
資産合計	156,140	164,479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,495	11,020
短期借入金	19,901	39,844
未払金	24,099	6,040
未払法人税等	1,101	1,174
賞与引当金	1,912	1,146
その他	12,713	14,522
流動負債合計	69,223	73,748
固定負債		
長期借入金	34,339	28,129
退職給付に係る負債	4,050	4,078
その他	3,811	7,432
固定負債合計	42,201	39,640
負債合計	111,424	113,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,310	24,310
資本剰余金	21,224	21,224
利益剰余金	△7,684	△5,631
自己株式	△108	△110
株主資本合計	37,741	39,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	904	1,282
為替換算調整勘定	3,970	7,590
退職給付に係る調整累計額	1,800	2,073
その他の包括利益累計額合計	6,676	10,946
非支配株主持分	297	350
純資産合計	44,715	51,090
負債純資産合計	156,140	164,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	102,491	119,899
売上原価	79,784	92,615
売上総利益	22,706	27,283
販売費及び一般管理費	16,615	18,269
営業利益	6,091	9,013
営業外収益		
受取利息	27	52
受取配当金	116	134
持分法による投資利益	509	665
その他	27	54
営業外収益合計	681	906
営業外費用		
支払利息	600	727
為替差損	382	1,127
その他	52	258
営業外費用合計	1,036	2,114
経常利益	5,736	7,806
特別利益		
固定資産売却益	6	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産処分損	33	42
独占禁止法関連損失	18,403	4,305
特別損失合計	18,436	4,348
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△12,694	3,458
法人税、住民税及び事業税	1,096	1,384
法人税等調整額	△100	△6
法人税等合計	995	1,378
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,689	2,080
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	27
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,672	2,053

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△13,689	2,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	389
為替換算調整勘定	1,526	3,465
退職給付に係る調整額	167	230
持分法適用会社に対する持分相当額	210	210
その他の包括利益合計	1,967	4,296
四半期包括利益	△11,722	6,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,716	6,322
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	53

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンデンサ		
売上高			
日本	16,756	3,174	19,931
中国	32,952	139	33,091
米州	11,306	15	11,322
欧州	13,331	0	13,332
その他	24,191	622	24,814
顧客との契約から生じる収益	98,537	3,953	102,491
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	98,537	3,953	102,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	98,537	3,953	102,491
セグメント利益	5,709	381	6,091

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CMOSカメラモジュール、アモルファスチョークコイルなどを含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンデンサ		
売上高			
日本	18,440	3,975	22,415
中国	38,161	151	38,312
米州	14,191	26	14,217
欧州	17,008	1	17,010
その他	27,034	908	27,942
顧客との契約から生じる収益	114,835	5,063	119,899
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	114,835	5,063	119,899
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	114,835	5,063	119,899
セグメント利益	8,321	692	9,013

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CMOSカメラモジュール、アモルファスチョークコイルなどを含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。